



「そこまでやるか？ホトケノザ」 2021.3.26

一見、レンゲ畑と見紛う光景！台座の上に円を描いて咲き誇るピンクの唇形花が隙間なく群れている。ハチにとってはこの上ない蜜の花園。否が応でも受粉の手伝いをさせられる。それなのにいくら待っても開かない「閉鎖花」と云われるツボミが、もしもに備えて控えている。この中で自家受粉するためだ。

不透明感が漂う世の中、野草の世界もリスクヘッジが怠れない。この図柄のように密閉して他の進出を阻み、仏の座に君臨する君のえげつないほどのしたたかさにリスペクト！

(M ノート)